

【9月14日】ラトビアン・ボイシズを追いかけて

(2016/09/14 水曜日 10:35:13 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2016/09/14 水曜日 11:36:54 JST)



???? ラトビアン・ボイシズを追いかけて?

日本ラトビア音楽協会・合唱団ガイスマ 桜井珊子????合唱指揮者・作曲家の松下耕先生が毎年企

茲氣譚討い襦袢襷翅 鯨盜臂ハ倭ハ好騰 卬襦廚法 G 魯蕙筆局 僚 郷佑離▲ 捷幕E凜 璽 襦袢襷襷慶中蕙筆局▲鵲E椒う嚮此廚 径圖氣譚襷斑里蚰 爾凡阿

帽圓 燭い隼廚辰討い評靴拭 ???ところが、この企画の一つである川口リリアホールでのサテライト・コンサートに、私たちラトビア音楽協会・合唱団ガイスマへの出演依頼があったのです。しかもなんと、メインのラトビアン・ボイシズのほかは、女声合唱団として名高い、松下耕先生指揮のプリリアント・ハーモニーとのこと。私

たちはどんな演奏ができるか少々心配でしたが、指揮者・佐藤拓先生のきめ細かく、行き届いたご指導と「7割まで暗譜する」という宿題に、なんとか練習を重ねました。??本番はまず松下耕・指揮、プリリアント・ハーモニーの演奏で、ラトビアの作曲家による「星」。メンバー皆が手に持ったグラス・ハーブ(*)を奏でながら歌A 諺杓 柄農欧蕨靴う蓮璽旨法次 修靴萄莖奈龍覆和沓 縫▲奪廖E 騰鴉樞痢 整俊譽僉璽肇鹵次中織う塵蘊う拭次厨如 箸討孟擇靴う好董璽犬任靴拭 *グラスハーブ: グラスに水を入れ、グラスのふちを濡らした指先で撫でて音を出す。?? 合唱団ガイスマのステージは次の3曲です。Skan?t skani sp?d?t sp?di? 「冠よ 光り輝け」Saul?t v?lu vakar?i? 「夜遅くの太陽」Kas vi?š? 「彼の名は」?? 佐藤拓先生のご指導のお陰で、よい演奏ができたようで、先生も「よかったんじゃないんすか?」とのこと。なんといっても3曲めにお願しいした、高市紀子さんのフルートが素晴らしく、私たちも歌いながら美しく豊かな音色に聴きほれてしまいました。会場で聴いてくださった方々からも、「ラトビアの曲はどれも非常に美しい」「ハーモニーがとてもきれい」「フルートが素晴らしい」「皆さんの民族衣装が素敵」などの声が～。また、音取りからステージまで、ずっとお付き合いくださったピアニストの坂本雅子先生には、いつも私たちをリードしていただきました。??さて、待望のラトビアン・ボイシズのステージの素晴らしかったこと! 美しい6人の歌姫たちは、黄色とグレーの布地を使った、思い思いのデザインの衣装で 仿諜 修靴重 鼎 蘊蘊筆局 謀舛綴詭瑛悅鮎擅瓦法 , 黎, 悅伐里い平后 修僚展釵淵蓮璽旨法爾録爾 靴?hellip;…。通訳つきの英語の解説で聞く、それぞれの民謡にまつわるストーリーも興味深いものでした。おしゃべりや自己紹介、パフォーマンスも楽しみました。また、メンバーは曲のアレンジもしているとのこと。最後に歌った「上を向いて歩こう」は本当に美しく、聴きながら涙があふれてきました。 ? そうして「追っかけ」よろしく、ガイスマの?子さん、植木さんと一緒に、軽井沢大賀ホールでの「軽井沢国際合唱フェスティバル」へ。? 1日目(8/26)は「ラトビアを歌おう!」に参加。ラトビアン・ボイシズが講師として、まず、発声法などを指導。その後、客席のたくさんの合唱団のメンバーにラトビアの合唱曲を指導され、大合唱を楽しみました。? 2日目(8/27) 佐藤拓先生が中心メンバー、8人組「シグナス・ヴォーカル・オクテット」のプレミアム・コンサートを堪能。初めに、8人が客席の周りを囲むように立って、歌い始めます。ホール全体が音の箱のようになって、ぞくぞくと鳥肌が立つハーモニーでした。? 3日目(8/28) ラトビアン・ボイシズ最後のプレミアム・コンサート。6人のメンバーは20日の川口リリアから始まって、なんと佐倉、京都、君津、とコンサートをこなして、軽井沢へ。さぞ疲れているのでは～、との心配は無用でした。川口の場合とほぼ同じプログラムでしたが、さらに素敵な演奏。むしろリラックスして楽しそうに見えました。そして、各地でとても歓迎され、大事にしてもらったと喜んでいました。?? 今年は、コーラスにどっぷりつかった夏でした。?



??



??



?? 写真は京都公演のものでFacebook投稿をシェアしました。【HP編集室】